



コミュニティスクール

興部高校 C S 通信

令和 8 年 3 月 3 日 発行 第 20 号

第 3 回 学校運営協議会 報告

令和 7 年度第 3 回学校運営協議会を 2 月 20 日に開催しました。今回は、今年度の学校運営に関する評価と改善策、ならびに次年度の活動計画について協議を行いました。

1 活動状況報告

第 2 回協議会以降の教育活動について報告しました。授業改善、探究活動、地域連携、生徒支援の取組状況を共有し、委員の皆様を確認いただきました。



2 学校関係者評価と主な協議内容

教職員による自己評価をもとに作成した「令和 7 年度学校関係者評価書」について協議を行いました。学校関係者評価書では、すべての分野で肯定的評価（A・B）をいただきました。今年度は評価項目を学校経営シラバスに合わせて一新しましたが、全体として高い評価となりました。また、生徒・保護者アンケートにおいても、大多数が肯定的回答でした。一方で、施設・設備に関する項目や「部活動が活発である」の項目は、やや低めの結果となりました。

3 委員の皆様からのご意見と学校の考え

委員の皆様から、次のようなご意見をいただきました。

- ・施設・設備に関する評価がやや低い
- ・新入生増加に伴う教員配置への懸念
- ・難関大学志望者への支援充実
- ・部活動のさらなる充実
- ・生徒数増加により、一人ひとりが役割を担う機会が減るのではないかと

これらに対し、学校として次のようにお伝えしました。

- ・施設・設備については古いものもありますが、今ある環境を大切に使い続けるため、生徒自身が校内の清掃や環境整備に主体的に取り組んでいます。
- ・入学者増加は、地域の皆様のご支援の賜物です。教員数は学級数に応じて配置されるため大きな増員は見込まれませんが、多様な学力層・多様な背景をもつ生徒一人ひとりにどう向き合い育てていくかという新たな段階に入りました。若手教職員を中心に、生徒に寄り添う指導を続けてまいります。学校だけで抱え込まず、地域とともに支える学校づくりをさらに進めていきたいと考えています。

また、これまで地域の中で本校の魅力を語り、後押しして下さったことに深く感謝しています。今後は学校だよりの充実などを通じ、より戦略的な魅力発信を行ってまいります。

4 次年度に向けて

入学者増という成果を踏まえ、次年度は次の点を柱に取り組みます。

- ・多様な学力層への学力向上策の強化（公営塾連携・ICT 活用等）
- ・教育相談・生徒支援体制の充実
- ・「総合的な探究の時間」の質的向上
- ・地域連携の深化
- ・生徒募集戦略の質的転換と満足度向上

今回の協議を通じて、学校の現状と課題、そして次年度の方向性を共有することができました。今後も、地域・保護者の皆様とともに、生徒一人ひとりの成長を支える学校づくりを進めてまいります。